

ガールスカウトの未来を創造する

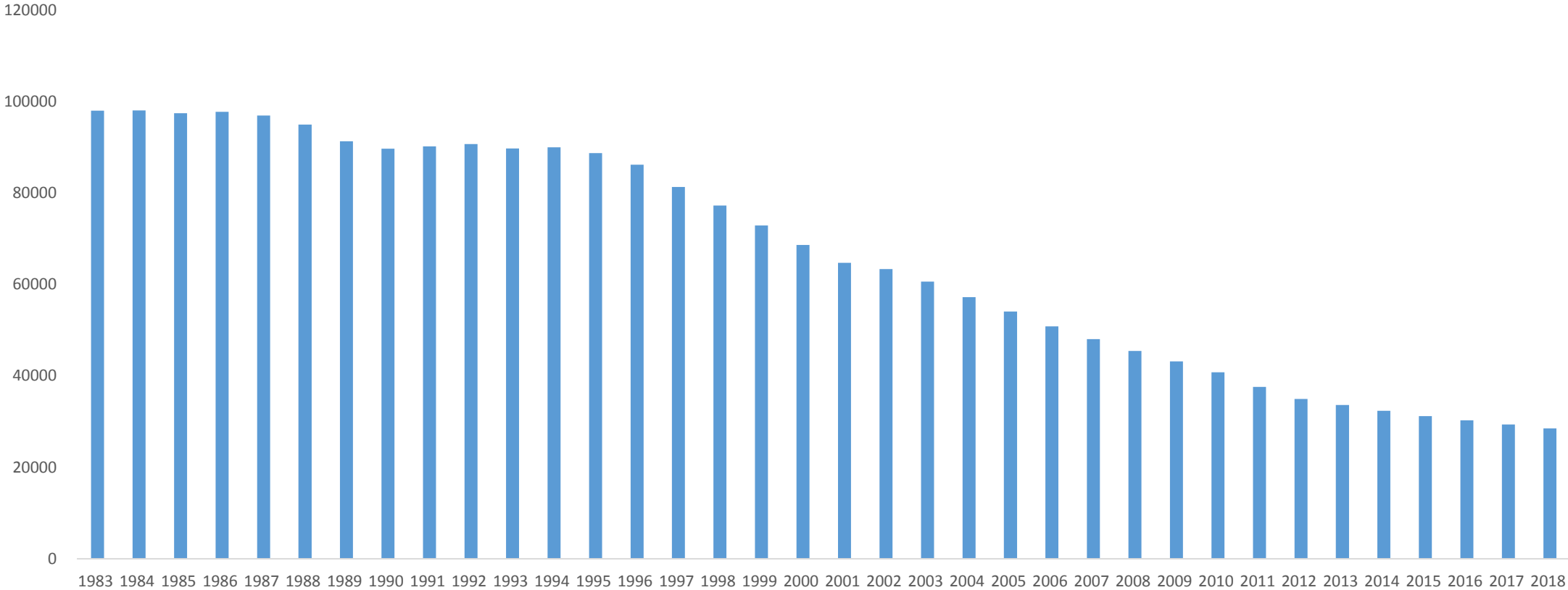
2019年7月21日

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

事務局長 清水 瞬一



会員数の推移



ある連盟の会員数

	2016年度	2017年度	2018年度
少女会員数	304	321	336
前年度比	107.0%	105.6%	104.7%
成人会員数	337	340	341
前年度比	101.8%	100.9%	100.3%
会員数	641	661	677
前年度比	104.2%	103.1%	102.4%

未来の創造のためにーその1

「心構えを変える」

どなたでしょうか？



(出典 : CNN.co.jp)

「ムーンショット」

「なぜ月へ10年で行くのか。それがやさしいからではなく、難しいからだ。この目標が我々から最高の活力と技術を引き出すからだ。」

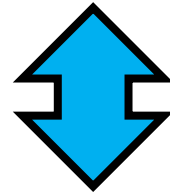
「ジョン・F・ケネディ」のことば

—アメリカ第35代大統領（在任期間：1961年1月～1963年11月）

—50年前の1969年7月20日20時17分に、月面着陸成功！

心構えを変える

- できないと思う悲観的な気分 — そんな気分には陥る必要はない。



- 楽しくない — 楽しくなくては集中できない、良い学びの環境を作るためにも自ら楽しみ、何より子どもを集中・夢中にさせることが必要ではないか。

現状維持に陥らない

- 悲観の気分と現状維持バイアスのマインドセットへ陥らない
- 「現状維持バイアス」とは、
 - 大きな変化や未知なことを避けてしまい、無意識のうちに何もしなくて良い理由を探すこと。
 - 利益よりも損を避けることを重視し、利益を得られる場面ではリスク回避を優先し、損失をこうむる場面では損失を回避することにより、結果的に行動できないという心理がある。（行動経済学者「ダニエル・カーネマン」の「プロスペクト理論」）
 - 2,500円の得と1,000円の損が同じくらい！

楽しさの価値を再認識する

- あるべき、やるべき、だからやるでは、人はついて来ない、楽しさに価値のあることを再認識する。
 - 楽しくないと伝わらない、人はついて来ない
 - 伝わらなくてついて来なければ、やっていることの価値を感じることができない

自らの意思で行動する

- やらされ感を作らない、みんなで考えた結果をもって、たくさんの人を巻き込み取り組む。
- 行動、行動そして行動
 - 身近な数値目標で、都度前進チェック（PDCAとKPIを後述）
 - 改善だけではなく、身近な目標が正しいのかも検討

楽観的な未来を描く

「悲観主義は気分によるものであり、
楽観主義は意思によるものである。」

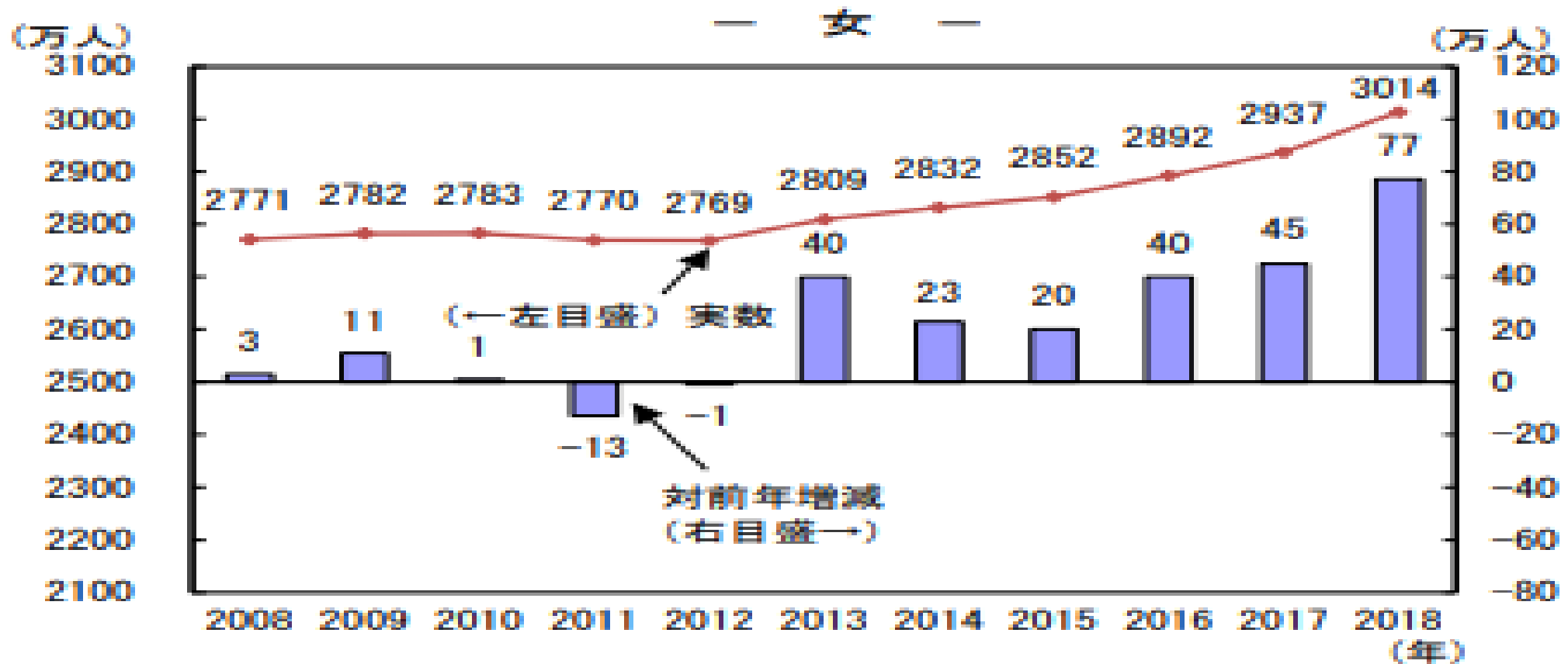
「アラン」のことば

— フランスの哲学者（1868年～1951年）

未来の創造のためにーその2

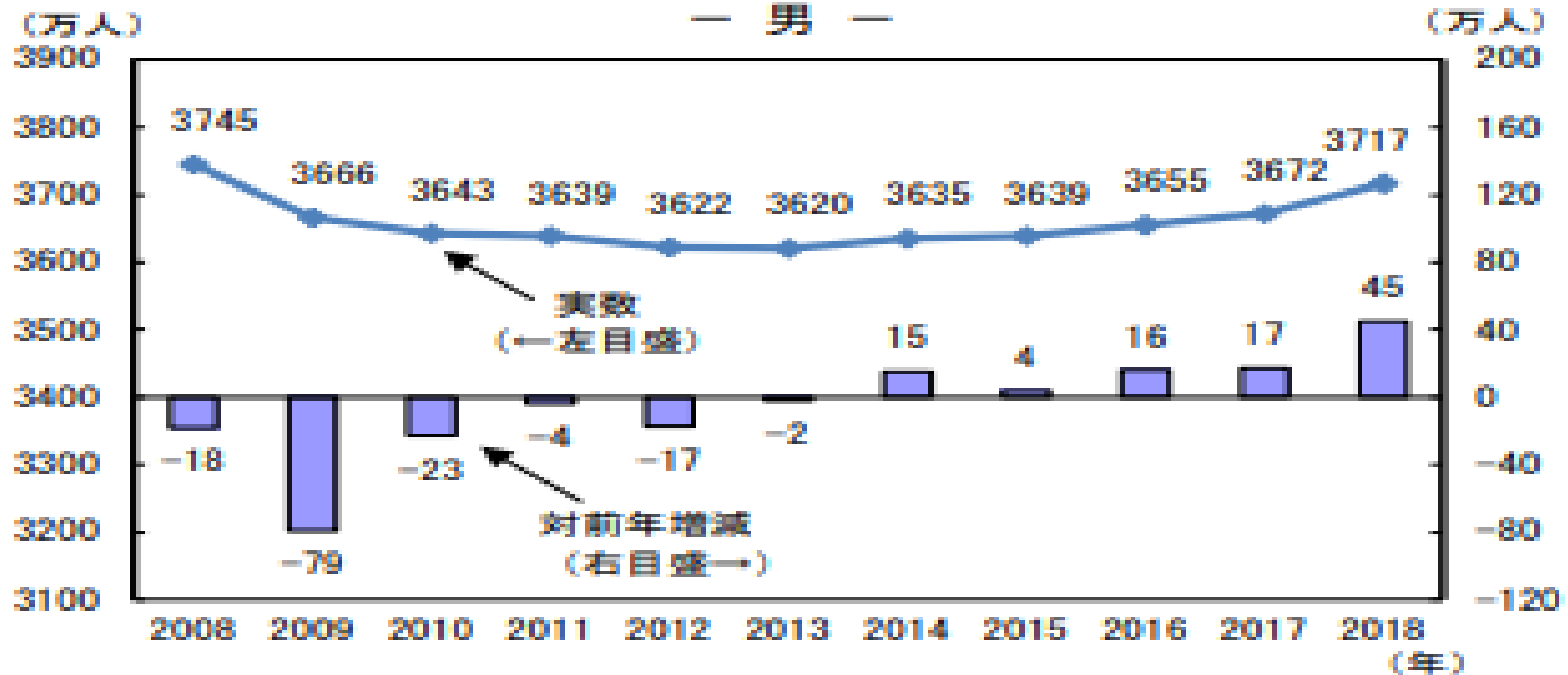
「忙しいのは当たり前で取り組む」

忙しいのは当たり前で取り組む



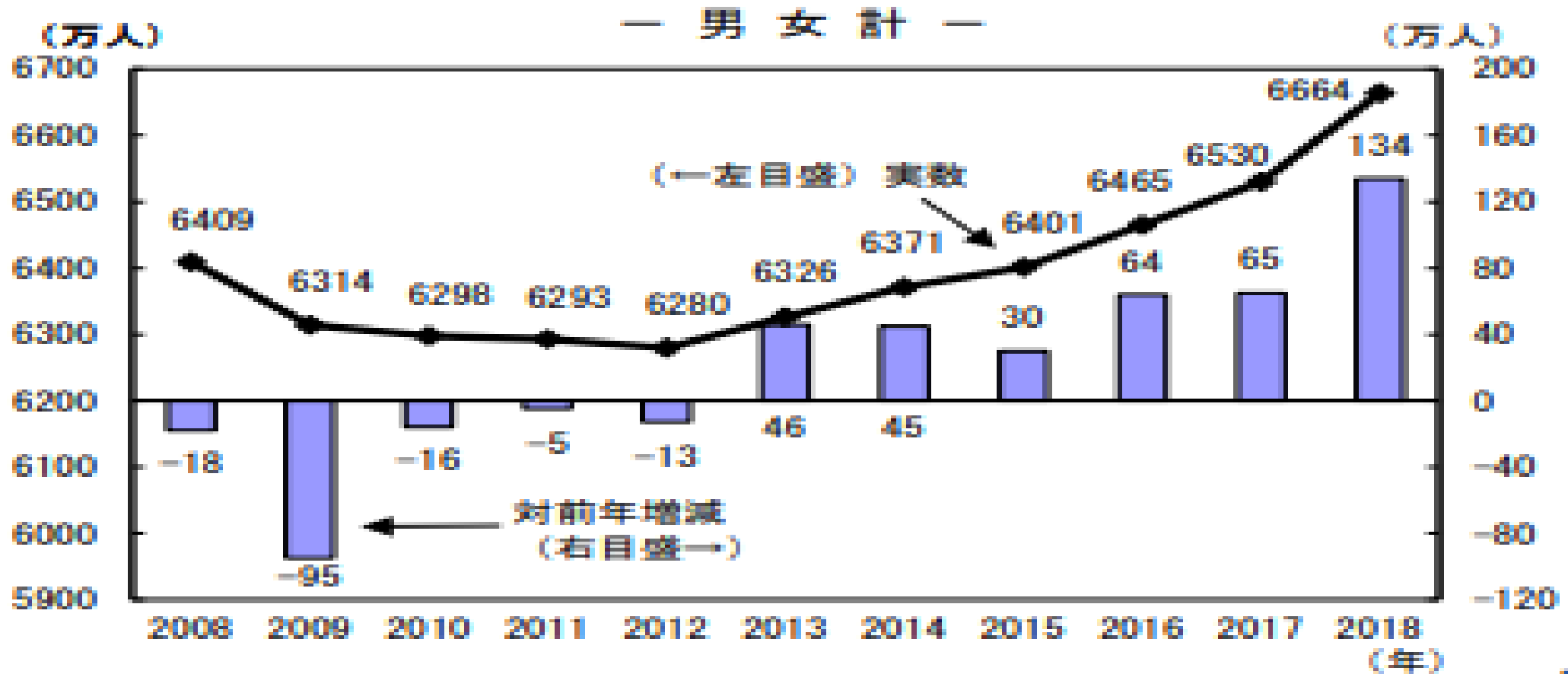
(出典：総務省統計局平成31年2月1日労働力調査・就業人口)

忙しいのは当たり前で取り組む



(出典：総務省統計局平成31年2月1日労働力調査・就業人口)

忙しいのは当たり前で取り組む



(出典：総務省統計局平成31年2月1日労働力調査・就業人口)

時間を無駄にしない

- 女性の就業状況はこの数年で激変
- 時間の無駄 — 時間は誰もが持つ、平等で貴重な財産であり、取戻すことができないもの。人の時間を無駄にしない。
 - 例えば、打ち合わせの終わりの時間を決めること
 - インターネット、スマートフォン、タブレット、パソコン、スカイプ、ラインなどを使うこと

役割を集中させない

- 役割を引き受けられない — 今や誰もが忙しい、役割を分散し集中させない
 - 一人に集中せずに、役割を分散
 - 一人が止まったら、誰も動けなくなるようにはしない
 - 役割を引き受けることの価値を再認識し、進んで引き受け必ず行動

未来の創造のためにーその3

「課題を見極める」

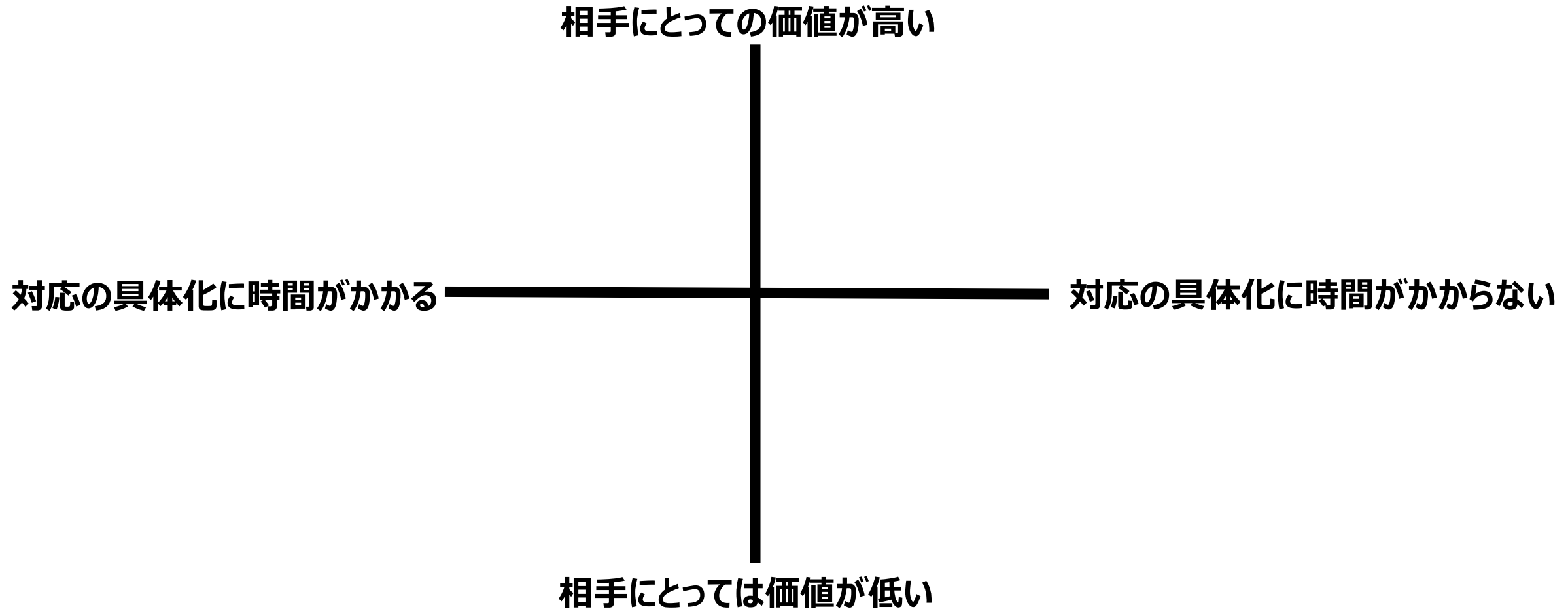
課題を見極め意思を固める

- 関係者全員で、課題が何かを話し合うことから取り組む
- 課題を共有することにより、危機感を共有する
 - 考えられる課題を、漏れなくダブリなく、すべてテーブルに乗せる
 - ポジショニング・マップ作りなど、頭と手をみんなで集中的に動かすこと
 - 数値データを使うと課題が分かり易い

課題を整理する

- すべての課題へ対処することは不可能
 - 戦略とは、やらないことを決めることとも言われます。
- 選択する基準を設定して、課題を整理し、取り組むべき課題を選択

ポジショニングマップ：2つの軸で課題を整理



この2つの軸を置いた背景

- 会員増の課題については、この2つの軸をおきました。
- 相手にとっての価値の軸
 - これから会員になる人や、会員にとっての価値の視点をしっかり持ち、会員増の課題に関して具体的施策を行うことは、非常に重要。
- 時間の軸
 - 会員増の課題は、収支面では喫緊の課題です。そのために時間の軸を評価軸としました。

解決すべき課題を選択する

- 組織の力を束ねる
 - 人々が動き相乗効果が出るように、当事者みんなで話し合う。
- 解決すべき最も重要な課題を選択
 - これが多くの課題の急所だと思えるものを、選択する。

未来の創造のためにーその4
「解決のアイデアを考える」

課題はアイデアで突破する！

- 課題は人数や力づくでは、なかなか解決できない
- 発想・アイデアで、それを突破できる
- アイデアはコラボレーション
- 初めてやることの価値

例えばアイディアのブレインストーミング

- 付箋を用意して、7名くらいのグループを作り、課題を解決するためのアイディアを、まず個人作業で1枚にひとつずつ、思いつくアイディアを記入します。
- 一人ひとりアイディアを説明しながら、模造紙に似たようなアイディアをグルーピングして貼ります。
- アイディアはどのようなものでも、否定せずに使いましょう。

例えばアイディアのブレインストーミング

- グループごとにタイトルをつけ、他のグループとの組み合わせにより、別のアイディアを作れないか、また、ひとつのグループが良いと思われれば、その範囲でさらにアイディアがでないか、もう一度作業を繰り返します。
- 最終的に、これだと思えるアイディアを選択します。
- 人数が多く別のグループを作った場合には、そのアイディアと比較し、選択します。